

平成28年第2回
掛川市・袋井市病院企業団議会定例会
会議録

掛川市・袋井市病院企業団

平成28年第2回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会
付議事件及び審議結果

○提出議案

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日	議決内容
認 第1号	平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院 事業会計決算の認定について	28.8.8	28.8.8	認定
報告第1号	掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資 金不足比率の報告について	28.8.8	—	—
議案第5号	平成28年度掛川市・袋井市病院企業団病院 事業会計補正予算（第1号）について	28.8.8	28.8.8	原案可決
議案第6号	専決処分の承認を求めることについて （掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与 及び旅費に関する条例の一部改正）	28.8.8	28.8.8	原案可決
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて （掛川市・袋井市病院企業団職員の給与の 種類及び基準に関する条例の一部改正）	28.8.8	28.8.8	原案可決

平成28年第2回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会会議録

○議事日程 平成28年8月8日(月) 午後3時50分 開会

日程第1 議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 副議長選挙の件

日程第5 認 第1号 平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算の認定について

日程第6 報告第1号 掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告について

日程第7 議案第5号 平成28年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)について

日程第8 議案第6号 専決処分の承認を求めることについて(掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正)

議案第7号 専決処分の承認を求めることについて(掛川市・袋井市病院企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正)

○本日の会議に付した事件 議事日程に上げた事件と同じ

○出席議員(10名)

1番 竹 嶋 善 彦

2番 山 崎 恒 男

3番 草 賀 章 吉

4番 大 石 與志登

5番 堀 内 武 治

6番 岡 本 幹 男

7番 高 木 清 隆

8番 大 場 正 昭

9番 永 田 勝 美

10番 大 庭 通 嘉

○説明のため出席した者

監査委員	横山茂明	監査委員	原田達功
企業長	名倉英一		
副院長	山本洋子	副院長	市橋鋭一
副院長	若井正一	副院長	一戸建志
副院長兼看護部長	八木純		
経営管理部長	久永豊彦	経営管理部参与	川隅庄一
経営戦略室長	石野敏也	管理課長	岩井政昭
医事課長	杉山三起也	財務係長	小林芳訓

議 事

午後 3 時 5 0 分 開会

○議長（竹嶋善彦） 本日の出席議員は、10名であります。所定の定足数に達しておりますので、これより、平成28年第2回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を開会いたします。

○議長（竹嶋善彦） なお、議事日程につきましては、議長において作成し、お手元に配布いたしました議事日程のとおりであります。これより会議を開きます。

○議長（竹嶋善彦） 日程第1、議席の指定を行います。

議席は、議長において、ただいまご着席の議席を指定いたします。

○議長（竹嶋善彦） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、3番草賀章吉君、10番大庭通嘉君を指名いたします。

○議長（竹嶋善彦） 日程第3、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は、本日1日限りとしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日限りと決定いたしました。

○議長（竹嶋善彦） 日程第4、副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって選挙の方法は、指名推選によることに決定しました。なお、お諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することとしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。それでは、副議長に永田勝美君を指名いたします。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって、副議長に永田勝美君が当選されました。ただいま副議長に当選されました、永田勝美君から、就任のごあいさつを自席にてお願いをいたします。

○副議長（永田勝美） あらためまして、皆さんこんにちは。ただいま、議長からご推薦をいただきました、永田勝美でございます。議長を補佐して、職務を全うしたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長（竹嶋善彦） ありがとうございます。

○議長（竹嶋善彦） 次に、日程第5、認第1号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま上程されました、認第1号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算について、ご説明申し上げます。

平成27年度は、多くの関係者の皆様のご支援とご協力により、平成27年8月1日に「救命救急センター」の指定を受けることができました。また、11月30日、12月1日に受審しました病院機能評価は、全89の評価項目のうち、「秀でている」のS評価を5項目、「適切に行われている」のA評価を82項目取得するなど、非常に高評価で認定を受けることができました。さらに厚生労

働省が定めるD P C対象病院における診療実績を評価しました機能評価係数Ⅱにつきましては、全国1,446のⅢ群病院の中で20位になるなど、質の面においても高い評価を頂きました。

経営面につきましては、収益確保や経費節減等に努め、健全経営を目指してまいりました。その結果、病院事業収益は、153億5,001万円、病院事業費用は、159億5,077万円で、差引6億76万円の純損失となりました。両市から追加出資を受け、債務超過や資金不足が解消され、経営の安定化に向けての基盤が整いつつあります。初期投資に係る減価償却費が高額であるため、病院経営にとっては厳しい状況が続きますが、今後も職員一丸となり、引き続き健全経営に努め、地域の医療水準の維持向上に最善を尽くしてまいります。

以上、認第1号の提案理由説明とさせていただきます。

詳細につきましては、経営管理部長から補足説明をいたしますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 次に、補足説明を求めます。久永経営管理部長。

○経営管理部長（久永豊彦） それでは私からは、認第1号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算につきまして、補足説明をさせていただきます。

決算の総括事項につきまして、少し触れさせていただきたいと思っておりますので、恐れ入りますが、決算書の9ページをお開きいただきたいと思います。冒頭の部分につきましては、企業長の提案理由で申し上げましたとおりでございます。中段部分①の患者の状況につきまして、補足させていただきます。1日あたりの患者数でございますけれども、入院患者数は、前年より3.4人増えまして428.1人、外来患者につきましては、前年より20.3人増えまして1282.7人となっております。②の収益の状況でございますけれども、総収益から総費用を差し引きました損失額につきましては、6億円余となったものでございますが、減価償却費が引き続き多額でございますことから、純損失を計上したといったところでございます。③の建設改良の状況でございますけれども、救命救急センターの指定のための改修工事を実施するとともに、医師及び研修医の増加に対応するため、諸室の改修工事等を行ったものでございます。その他、高度な医療を提供するための手術機械などを購入したものでございます。以上が平成27年度事業の概要でございます。今後につきましても地域住民に「愛され、信頼される病院」をめざして、一層の努力を続けて参りますので、よろしくようお願い申し上げます。

続きまして、決算報告書の内容につきまして、ご説明を申し上げます。恐れ入りますが、決算

書の1ページ、2ページをお開きいただきたいと思います。(1)の収益的収入及び支出につきまして、ご説明をさせていただきます。決算額につきましては、備考欄に記載いたしてございますけれども、仮受消費税・仮払消費税及び地方消費税を含んだ金額となっておりますので、よろしくお願いいたします。まず、収入でございますけれども、第1款病院事業収益につきましては、予算額154億2,677万6千円に対しまして、決算額が154億1,282万894円でございます。予算額に対しまして1,395万5,106円の減となっております。内訳では、第1項医業収益が、決算額145億1,931万455円でございます。予算額に対しまして、3,092万4,455円の増でございます。第2項医業外収益は、決算額8億8,886万7,439円で、予算額に比べ4,487万9,561円の減でございます。第3項特別利益の決算額は464万3千円でございます。

次に支出でございますけれども、第1款病院事業費用は、予算額161億5,731万7千円、決算額は160億262万4,236円で、不用額は1億5,469万2,764円でございます。内訳につきましては、第1項医業費用が決算額153億8,921万4,688円で、1億3,814万8,312円が不用額となっております。第2項医業外費用は決算額6億227万4,048円で、不用額は1,154万3,952円となっております。第3項特別損失は決算額1,113万5,500円で、不用額は500円でございます。なお、第4項予備費につきましては、執行はございません。

続きまして、3ページ、4ページをお開きいただきたいと思います。資本的収入及び支出につきまして、ご説明させていただきます。収入では、第1款資本的収入、予算額20億3,008万2千円、決算額が19億7,542万6千円、予算額に対しまして5,465万6千円の減でございます。内訳につきましては、第1項企業債が、決算額1億9,510万円で、予算額に比べ2,990万円の減でございます。第2項出資金は、決算額17億7,444万2千円で、予算額に対しまして3,037万6千円の減でございます。第3項貸付資金返還金は、決算額98万4千円で、予算額に対し、72万円の増でございます。第4項補助金につきましては、決算額が490万円となっております。

次に支出についてでございます。第1款資本的支出は、予算額17億445万円で、決算額16億8,537万6,706円、不用額が1,907万3,294円となったものであります。内訳につきましては、第1項建設改良費が、決算額3億7,706万8,371円で、不用額1,754万2,629円でございます。第2項企業債償還金につきましては、決算額12億4,602万8,335円で、不用額665円でございます。第3項投資につきましては、決算額6,228万円で、153万円を不用額としたものでございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。損益計算書でございます。この損益計算書につきましては、税抜きで表示をしてございますので、よろしくお願いを申し上げます。1の医業収益につきましては、入院収益から他会計負担金までの計で、144億6,119万3千円余でございます。

2の医業費用は、給与費から研究研修費までの計で、152億99万3千円余でございます。これによりまして、医業損失は7億3,980万円余となっております。3の医業外収益は、受取利息配当金からその他医業外収益までの合計で、8億8,417万9千円余となったものでございます。4の医業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費から負担金交付金までの計で、7億3,864万4千円余でございます。医業外利益は1億4,553万5千円余となったものでございます。この結果、経常損失は5億9,426万5千円余となったものです。5の特別利益につきましては、過年度損益修正益が464万3千円。6の特別損失は、過年度損益修正損が1,113万5,500円で、差引き649万2,500円のマイナスとなっております。当年度純損失は、6億75万7千円余となったものでございます。前年度繰越欠損金が20億9,005万円余でございます。合計いたしまして、当年度未処理欠損金は26億9,080万8千円余となったものでございます。

続きまして、6ページの剰余金計算書でございますけれども、資本金につきましては、前年度末残高が10億9,632万3千円余でございます。追加出資いただきました10億円を含む市出資金が、17億7,444万2,000円でございます。当年度末残高は、28億7,076万5千円余となったものでございます。また、利益剰余金の部では、前年度末未処理欠損金残高が、20億9,005万円余でございますが、当年度純損失が6億75万7千円余でございますことから、年度末残高の未処理欠損金は、26億9,080万8千円余となったものでございます。

次に、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業欠損金処理計算書でございますけれども、当年度未処理欠損金、26億9,080万8千円余を翌年度に全額繰り越すものでございます。

続きまして、7ページ、8ページをお開きいただきたいと思います。貸借対照表でございます。平成28年3月31日現在の財政状況を示すものでございます。資産の部につきましては、有形固定資産の合計額が、182億650万6千円余でございます。投資の会計につきましては、2億5,662万円余でございます。固定資産の合計額は、184億6,312万7千円余となっております。流動資産につきましては、現金預金から前払金までを合計したもので、31億7,477万5千円余となっております。資産合計額につきましては、216億3,790万3千円余となっております。

続きまして、負債の部に移らせていただきます。固定負債につきましては、企業債から引当金までの合計でございます。183億1,295万1千円余となっております。流動負債につきましても、企業債から預り金までの合計でございます。25億3,184万1千円余となったものでございます。なお、負債勘定のうち、平成28年度末までに支払いが予定されるものにつきまして、流動負債に区分し、それ以降のものにつきましては、固定負債に計上いたしてございます。繰延収益関係につきましては、建設改良に係る補助金により取得いたしました資産につきまして、償却年数

に応じまして収益化をいたしたもので、残高が6億1,315万3千円余となったものでございます。負債の合計額につきましては、214億5,794万6千円余となったものでございます。

続きまして、資本の部に移らせていただきます。資本金につきましては、28億7,076万5千円余でございます。剰余金につきましては、当年度未処理欠損金でございますけども、26億9,080万8千円余のマイナスとなったものでございます。資本の合計は1億7,995万6千円余となりまして、債務超過は解消されているものでございます。また、負債資本の合計額につきましては、216億3,790万3千円余でございます、前ページの資産合計と一致をいたしております。

以上で、平成27年度病院事業会計決算についての補足説明とさせていただきます。なお、9ページ以降につきましては、事業報告書及び決算附属書類がございますので、ご参考いただきまして、ご審議賜り、よろしくご認定くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で説明が終わりました。

本決算について、監査委員から決算審査の意見書が提出されております。この際、審査につきまして、監査委員から説明を求めます。横山監査委員。

○監査委員（横山茂明） 平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計の決算審査所見を申し上げます。

掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算については、地方公営企業法第30条第2項の規定により、先般、掛川市・袋井市病院企業団の企業長から審査に付されましたので、事務局による予備調査を実施後、関係職員から説明を聴取し、原田監査委員とともに慎重に審査を実施いたしました。審査の結果は、お手元に配付いたしました「平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算審査意見書」のとおりであります。審査に付されました当年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、正確であると認められました。

先ず、決算の概要について申し上げます。3ページを御覧ください。患者数の状況は、入院が15万6,702人、一日平均428.1人、外来が31万1,698人、一日平均1282.7人となり、入院、外来ともに、一日平均の患者数は、前年度を上回りました。

9ページを御覧ください。経営収支の状況では、医業収益は144億6,119万4千円で、主なものとしては、入院収益94億4,739万1千円、外来収益39億7,098万9千円となり、前年度に比べ8億154万円の増加となりました。これは、患者数の増加に加え、D P C係数の増にとまう入院収益

の増加と、高額な薬剤の使用による外来収益の増加等の理由によるものです。医業費用は152億99万4千円で、前年度に比べ4億2,919万8千円の増加となりました。これは、職員数の増加及び人事院勧告に伴う手当などの差額支給実施による給与費の増と、抗がん剤等的高額薬品の使用量の増加により、材料費が増加したことによるものです。これにより、本年度の医業収支は、7億3,980万円の損失となりました。これに医業外収益・費用を加えた経常収支では、5億9,426万5千円の損失計上となりました。なお、当年度純損失は、特別利益464万3千円、特別損失1,113万6千円を加え、6億75万8千円となりました。

18ページを御覧ください。このキャッシュ・フロー計算書とは、純損益から資産の増減を反映させ、減価償却費など非資金項目を調整した、実質資金収支を示したものであります。当年度の業務活動によるキャッシュ・フローは、9億3,888万5千円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローは、3億2,467万3千円のマイナス、また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、1億6,767万6千円のプラスであり、これにより、現金等の期末残高は7億8,766万円となりました。

最後に、審査所見について申し上げます。全国初の市立病院同士の統合から3年が経過し、平成27年8月1日には「救命救急センター」の指定を受け、中東遠地域の基幹病院として更に質の高い医療の提供に努められました。その結果、DPC対象病院における診療実績を評価した機能評価係数Ⅱにおいて、Ⅲ群病院中、全国で20位、県下で1位となるなど、前年度に引き続き病院の体制と実績が高評価を得られたことは、職員の努力の成果として高く評価できます。患者数、病床利用率も前年度を上回り、入院、外来の診療単価ともに増加となり、医師一人当たりの診療単価においても前年度に比べ9,843円の増加となりました。医業収益は、医師数に大きく左右されることから、今後とも関係機関と連携し、医師の確保など、診療体制の構築にご尽力いただきたいと思います。また、患者の一部負担金にかかる未収金の早期回収と発生防止、価格交渉による経費の削減など、引き続き経営改善に向けた取り組みを進めてください。医療機器等購入による起債については、企業債の償還額を上回ることをしないよう留意され、経営を圧迫する債務の低減に努めてください。資本金は、両市からの追加出資を含め17億7,444万2千円を受け入れたことにより、28億7,076万6千円となりました。これにより、欠損金26億9,080万9千円を上回り、平成27年度末現在の資本合計は1億7,995万7千円となり、債務超過は解消されています。今後も、安定した収支状況となるよう留意され、企業団・両市の連携により、地域住民の健康増進に寄与されることを望むとともに、地域医療支援病院の指定取得により、中東遠地域の基幹病院として、医療水準の向上を図り、良質な医療の提供に努められるよう望みます。

以上、掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計の審査所見の報告といたします。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、監査委員の説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

○議員（岡本幹男） 議長。

○議長（竹嶋善彦） 岡本議員。

○議員（岡本幹男） ただいま、決算について説明があった訳ですけども。先ず、説明する人によってですね、扱う数字が違っているような印象を受けたんですけども。企業長の病院事業収益が153億5千万円余ということで、病院事業費用がですね、159億5千万円余ということで、差し引き6億円余の純損失という説明であったんですけども。片や、経営管理部長の方はですね、決算報告書の数字で病院事業収益の方はですね、仮受消費税及び地方消費税を含む数字で説明があったかと思います。この書類を見てもそうなっているんですけども、最終的にですね、どの数字で把握すればいいのかということをもう一度分かり易く、ご説明いただきたいと思います。

もう1点は、リース資産の関係ですけども、リースについてはですね、所有権移転型のファイナンスリースと所有権移転外を併用されていると思うんですけども、貸借対照表に載っているリース資産はですね、減価償却を累計した額ですね、8,200万円余という数字ですけども、片やですね、負債の部のリース債務が4,326万円という金額がですね、固定負債、流動負債ともにですね、同じ数字で載っている訳ですけども、これはですね、償還期限までの区分けで載っているのかですね。

質問としては、リース債務の内訳のやり方、それからリース債務で計上されている項目のですね、所有権移転型とそれ以外の区分けですね、その点について、説明をお願いしたいと思います。

○議長（竹嶋善彦） 答弁願います。久永経営管理部長。

○経営管理部長（久永豊彦） 岡本議員のご質問にお答え申し上げます。

決算書の関係につきましては、決算書の1ページ、2ページ、3ページ、4ページでございますけども、これは予算との対比をするための説明をさせていただいたものでございまして、予算につきましては税込予算という形でございますので、ここで計上をさせていただいたものは、税

込みという数字で説明をさせていただいたところでございます。また、損益計算につきましては、消費税を除いた実際の資金収支に見合った数字で説明させていただいておりますことから、若干数字に差異が出ているといったことでございますので、その点につきましては、会計処理の仕組みということで、是非ご了解を賜りたいと思います。

それから、リース資産の関係でございますけれども、長期固定負債と流動負債という形でございますけれども、29年3月31日までに支払義務のございます債務を流動負債の部分に計上し、それ以降、29年4月1日以降の支払債務の関係につきましては、長期負債の部分に計上をさせていただいたものでございまして、29年度でもちまして、リースの期間が終わるという予定でございますことから、28年度中ということで流動負債、29年度分の固定負債という形で項目を計上をさせていただいているものでございますので、よろしく願いいたしたいと思います。

より詳細につきましては、担当より補足説明させていただきます。

○議長（竹嶋善彦） 担当者。

○財務係長（小林芳訓） 財務係長の小林と申します。よろしく願いいたします。

所有権移転リースにつきましては、貸借対照表上のリース債務4,326万円、固定負債、流動負債合わせたものの残高が、リース債務となっております。これにつきましては、検査機器のリースにつきまして、こちらのほうに計上をさせていただいております。これは、開院時の年度当初に契約をしたものでございます。通常のリースにつきましては、資本的収支のほうで計上しております。こちらはリース債務に該当しないものということで、経理を別としております。固定資産にリース資産ということで計上しております残高と合っていないというところにつきましては、消費税の関係で差異が発生しているということをご理解いただきたいと思います。以上です。

○議長（竹嶋善彦） 岡本議員。よろしいですか。

○議員（岡本幹男） はい。

○議長（竹嶋善彦） 岡本議員。

○議員（岡本幹男） 最初ですね、決算報告書の数字がですね、予算との対比で税込みで数字を出してあるということですけども、私どもはですね、この数字をですね、見比べる場合、1ページ、2ページそれから3ページ、4ページとですね、仮払消費税及び地方消費税をですね、控除した数字がですね、必ずしも決算の数字とは符合しないわけですけども、その辺は、計算上のあやがあるという理解でよろしいでしょうか。

それから、先ほどですね、リースの関係でご答弁があったリース債務についてはですね、固定負債、流動負債のリース債務の合計が、本来リース資産残高と符合するはずなんですけども、その符合しない点はですね、消費税、その辺の計算のあやという理解でよろしいかですね、2点お願いします。

○議長（竹嶋善彦） 答弁願います。

○財務係長（小林芳訓） そのとおりでございます。

○議長（竹嶋善彦） よろしいですか。

○議員（岡本幹男） はい。

○議長（竹嶋善彦） ほかにございますか。

○議長（竹嶋善彦） 質疑ないようですので、質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより認第1号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり認定することに決定いたしました。

○議長（竹嶋善彦） 日程第6、報告第1号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） 報告第1号、掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算に基づく資金不足比率を監査委員の意見を付けて報告するものであります。平成27年度につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第16条及び同法施行規則附則第3条により算定した結果、流動負債額が流動資産額を下回るため、資金不足額は生じません。したがって、資金不足比率も発生しません。以上、報告申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） 質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、本件の報告を終わります。

○議長（竹嶋善彦） 日程第7、議案第5号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま上程されました議案第5号、平成28年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号について、ご説明申し上げます。

収益的収支につきましては、収入支出とも60万1千円の増額をお願いするものでございます。収入といたしましては、前年度の繰入金の精算金として、特別利益60万1千円の増額をするものでございます。支出といたしましては、前年度の繰入金の精算金として、特別損失60万1千円の増額をするものでございます。債務負担行為につきましては、4件を新たに追加するものでございます。

以上、議案第5号の提案理由説明とさせていただきます。詳細につきましては、経営管理部長から補足説明をいたしますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 本件の補足説明を求めます。久永経営管理部長。

○経営管理部長（久永豊彦） それでは、私からは議案第5号、平成28年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号につきまして、補足説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、予算書の1ページをお開きいただきたいと思います。第2条の収益的収入及び支出についてでございますけれども、収入につきましては、病院事業収益といたしまして、60万1千円を増額いたしまして、155億1,852万4千円とするものでございます。内訳は、特別利益でございます。支出につきましても、同額を増額いたすもので、病院事業費用につきましても、合計額が164億4,352万4千円となるものでございます。内訳につきましては、特別損失60万1千円でございます。

続きまして、第3条の債務負担行為の関係でございますけれども、追加につきましては、リース料、委託料など4点につきまして、平成29年度当初からの業務を速やかに執行するため、本年度中に業者選定及び契約を締結する必要がございますことから、平成32年度及び平成34年度までにかけての債務負担行為を設定いたすものでございます。

続きまして、補正予算第1号の実施計画によりご説明をさせていただきます。恐れ入りますが、2ページをお願いいたします。収益的収入及び支出についてでございますけれども、収入の特別利益が、60万1千円の増額でございます。これは、平成27年度決算におきます掛川市と袋井市の負担繰出金の所要額の確定に伴いまして、掛川市について、繰出金の不足分が発生いたしましたことから、追加で繰り入れをいただくものになります。特別損失も同額でございますけれども、袋井市におきまして超過負担がございましたことから、返還清算するものであります。

3 ページ以降につきましては、予定キャッシュ・フロー計算書が提示させていただいてございます。年度のキャッシュ・フローにつきましては、若干のプラスを見込んでいるものでございます。4 ページには、債務負担行為に関する調書がございます。5 ページ、6 ページにつきましては、平成29年3月31日時点の予定貸借対照表を提示させていただいてございます。債務超過には陥らないものでございます。8 ページ、9 ページは、補正予算第1号に係ります事項別明細書をお示しさせていただいております。

以上、平成28年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号の補足説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 質疑はないようですので、質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより議案第5号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決することに決しました。

○議長（竹嶋善彦） 日程第8、議案第6号及び議案第7号を一括議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま、上程されました議案第6号及び議案第7号の2件について、ご説明申し上げます。

議案第6号、専決処分の承認を求めることについては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、掛川市・袋井市病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について、平成28年3月24日をもって専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

議案第7号、専決処分の承認を求めることについては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、掛川市・袋井市病院企業団職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について、平成28年3月24日をもって専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

以上、議案第6号及び議案第7号の2件の提案理由説明とさせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより議案第6号及び第7号について、一括採決いたします。

お諮りいたします。本2件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決することに決しました。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、本日の日程全部を終了いたしました。

○議長（竹嶋善彦） 閉会にあたり、企業長よりごあいさつをお願いいたします。名倉企業長。

○企業長（名倉英一） 本日は、お忙しいなか、またお暑いなかを、色々ご審議いただき、大変ありがとうございます。平成27年度決算の認定及び3件の議案について、ご審議いただき、いずれも原案どおりお認めいただきまして、誠にありがとうございます。

開院して、3年3ヶ月が経ちました。石の上にも3年と申しますが、平成27年度は病院としての形・骨格ができてきた年度かなと感じております。診療実績もですね、少しずつ上がっていて、入院患者も428名ですから、若干2人程足りませんが、順調ではないかと思えます。もちろん診療科も弱いところもありますし、まだまだ課題も多いですが、私としては良くなってきたかと思えます。これは職員の頑張りにつきますと思えます。磐田とよく比較をされますけども、医師の数で言えば、磐田はうちの2割位多いわけで、しかも歴史もありますし、うちはまだ3年です。診療実績では、並んでいるのかと思えます。

もう1つはですね、我々も頑張ってはきましたが、外部評価でですね、私たちの考えよりも良いものをいただいたと思っております。先ほども申し上げましたとおり、病院機能評価もですね、本当に一生懸命みんなやってくれました。あれはですね、病院とはこうあるべきだという基準をですね、この病院がどこまで満たしているかという審査なんです。異なる文化、色々な違いをもつ2つの病院が、統合する1つの大きな課程と思っていましたけども、本当に頑張ってくれて、素晴らしい評価をいただくことができました。

それから、診療実績は、民間とか色々な評価がありますけども、厚労省が民間も官も含めてですね、DPCで吸い上げてですね、DPC機能評価係数Ⅱという総体評価をしているんですね。

このⅢ群一般病院としてですね、1,446病院中20番という評価をいただくことができました。これに傲らず、診療形態・効率性ということと医療の質をリンクさせていきたい、それから、外来の待ち時間などの個々の課題にも取り組んで参りたいと思います。

もう1つは、従業員数、スタッフが1,000人を超えました。1,000人を超える事業所ですので、結果的にですね、色々と地域にも間接的な効果があるのではないかと思いますし、雇用の機会としても、出来てきているのではないかと思います。

ただ、多くの課題が残っていることも十分理解しておりますので、企業団と両市が、共に発展するためには、申し訳ありませんが、財政支出については、お願いしたいと思います。適正な支援を得て、よりしっかりとすることが、次のステップ、ステージに繋がると思います。

今後も引き続き、議員皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

○議長（竹嶋善彦） これにて、平成28年第2回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を閉会いたします。みなさまのご協力に、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

午後4時41分 閉会

[署名]

以上、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 28 年 10 月 26 日

掛川市・袋井市病院企業団議会議長

竹 穂 喜 彦

[署名議員]

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

草 賀 音 吉

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

大 庭 通 嘉